

下見旅行で訪れた 温泉津に一目惚れ!

27歳で結婚して以来、主人は、ずっと普通のサラリーマン生活だったんですが、そのときから、今と変わらずネイチャー指向ですと、体を動かす仕事を考えていたようです。私は看護師の世界しか知らないんですが、やっぱり一緒に暮らしていると感化されるというか(笑)、私も知らず知らずのうち、主人と同じ夢を見るようになりました。

もちろん、青森も自然がいっぱいですが、2人とも寒いのが大の苦手です(笑)「暖かい気候の土地で仕事がしたい」と主人が言い出したときは、当然、大賛成でした。

温泉津の定置網を見つけたのは、インターネットの漁師募集ページでした。私たち、自然も好きだけど、温泉も大好き!俄然、温泉津に興味を持ち、旅行がてら訪れたんですが、すぐに温泉津が気に入り、そのまま、アボナして役場に駆け込んだんです(笑)青森と温泉津では遠すぎるし、決断するなら今!って感じてました。

同じ日本の中ですから、 全然問題ないですよ(笑)

この地で漁師として 一生楽しく過ごしたい。

主人は今の職場に、すぐに採用が決まり、私は高齢者施設の医局でパートとして働いています。最初、主人も慣れない仕事で、苦労もあったようですが、何ととっても、37歳の主人が、会社では一番の若手!最近では、どんどんたくましくなってきたなあ!って感じてます。

最初に経験した大漁のときなんて、本当に嬉しそうでしたね!あの時は、「ああ、こっちに来て良かったなあ!」って、心から思いました。

地域の人々も良い人たちばかりで、最初、言葉に困ったくらいで、あとは同じ日本の中ですから、全然問題ないですよ(笑) 仕事時間も規則正しいので、青森時代より、一緒に過ごせる時間がたくさんあって大満足です。

一緒に来てくれたから、 頑張れたんだと思います。

体を動かす仕事というものに昔から憧れがあって、温泉津に来て、定置網の漁師になることで、ようやく念願の仕事につきました。こちらに来ることにしても、家内が喜んで賛成してくれたことが、何よりも嬉しかったですね。正直言って、一緒に来てくれたからこそ、ここまで仕事を続けてこれたと思ってます。今の目標は、船舶免許の取得。いずれは2人揃って漁業をするってのもいいですね。

Fisherman #02

大久保 法雄さん 祐子さん

高校の同級生同士で、1968年生まれの青森八戸出身。法雄さんはサラリーマン、祐子さんは看護師として働くなが、法雄さんが、一次産業への転職を考え始める。その後、インターネットで知った「有限会社温泉津定置」の出会いで、漁師になることを決意、祐子さんを伴い、1年半前に青森から1ターンを果たす。



大久保さんが乗船する船。船酔いは一度もなかったらしい。



石見銀山の積出港として有名な温泉津港。